

ワールドワイド携帯電話四半期動向

2008年10月31日報告

2008年3Q(7-9月)調査結果 目次

1	2008年3Q(2008年7-9月)結果の要約	3	7.1.	2008年3Q(7-9月)需要動向	20
2	地域別累積加入推移(四半期別)	6	7.2.	地域別販売動向	24
2.1.	BRICs(中国 インド、ブラジル)加入推移	9	7.3.	2008年メーカー別需要量予測	25
3	方式別加入推移(四半期別)	11	8	Nokiaの2008年3Q動向	27
4	2008年加入者予測	14	9	Motorolaの2008年3Q動向	30
4.1.	地域別	14	10	Sony Ericssonの2008年3Q動向	32
4.2.	方式別	15	11	Samsungの2008年3Q動向	34
5	主要オペレータ加入者数推移	16	12	LGの2008年3Q動向	36
5.1.	アジア	16	13	5社以外の2008年3Q動向	41
5.2.	西欧	17	13.1.	Research in Motion	41
5.3.	東欧	17	13.2.	Apple	42
5.4.	北米	18	13.3.	日本メーカー	43
5.5.	中南米	18	13.4.	その他	44
5.6.	中東/アフリカ	19	14	携帯電話チップメーカー動向	45
5.7.	主要オペレータ加入者数推移の世界全体に占める推定比率	19	15	端末各社の出荷計画	46
6	主要モバイルインフラメーカーの業績推移	19	16	製品在庫状況	47
7	端末需要動向推移	20			

2008年3Qの世界の携帯電話市場概況

加入者数推移

3Qのワールドワイドの新規加入件数は急速にブレーキがかかり前期2Qを下回った。3Qの新規加入が2Qを下回ったのは2000年以来8年振りになる。3Qではアジア新興国の鈍化が目立ち、ワールドワイド全体の加入を押し下げた。一方サブプライム問題で揺れる米国は堅調な推移を示し、季節要因から2Qを上回った。

新規加入推移をみる限り、3Qでは世界的な金融不安の影響は限定的なものともみられ、むしろ10-12月の加入傾向

を注視する必要がある。欧米はもとより、通貨不安から新興国の加入マインドの冷え込みも十分予想される。過去 4Q の新規加入件数の前期 3Q に対する伸び率(4Q 新規加入件数/3Q 新規加入件数*100)は 1999 年以降、2006 年(8.3%増)を除いて 2 桁台を達成してきた。今 10-12 月は経済環境の悪化を踏まえ 2 桁台の伸びは困難とみられ、弊社では 3Q 対比 5%程度の低率の伸びを予想した。

端末需要

3Q の端末需要は 3 億台弱と前期比で微増に終わった。大手メーカーでは Samsung が前期の販売数量を上回り、Sony Ericsson はほぼフラットで推移し、Nokia、Motorola、LG は大きく下回った。

特に Nokia は当初 3Q について 1.3 億台程度を予想していたが、1.178 億台と前期水準も下回る落ち込みになった。Nokia は 3Q で画期的な新製品を打ち出せなかったこともあるが、ハイエンドでは iPhone 3G、HTC の進出、ミッドエンドでは競合メーカーの値下げ攻勢、ローエンドでは Samsung のほか中国国産メーカーの安値攻勢で南アジア市場を奪われた可能性が高い。

Nokia は 2008 年の出荷台数は公式には 5.15 億台としているが、現実的には厳しい目標数値になってきた。

赤字を継続した Motorola、Sony Ericsson は人員削減のほか開発体制の見直しに着手、Motorola は Android へ経営資源を集中する方向に開発戦略を練り直した。

4Q は各社とも注目モデルを投入する。Nokia は初のタッチスクリーンモデル 5800 XpressMusic を投入、Motorola も初のタッチスクリーンモデル Krave ZN4、Sony Ericsson も W960 の後継機種にタッチスクリーンタイプをリリースする見通しで、LG もローエンドモデル (Cookie) にタッチスクリーンを搭載する。日本国内でもシャープがソフトバンク向け冬モデルにフルタッチスクリーンモデル AQUOS ケータイ FULLTOUCH SoftBank 931SH を 11 月下旬から発売を開始する。タッチスクリーンは Apple、Samsung、LG が先行していたが、ようやく各社が出揃う状況を迎えたことになる。

ただミッドエンドの買い替えモデルとしてタッチスクリーンタイプの魅力はあるが、市場環境は急速に悪化しており、今回の金融不安はクリスマス商戦を直撃する可能性は高く、消費マインドの盛り上がりは昨年に比べ期待薄になる。

4Q の端末販売は 3Q 対比 9%増を予測した。前年が 15.8%増なので 3Q 対比の伸び率を大きく抑えた数値になる。

4Q の端末販売が想定線に届かなければ、流通在庫が 2009 年初めに滞留することになり、過剰流通在庫問題が再度浮上する懸念も出てくる。